

## 平成 24 年度環境工学委員会研究ワークショップ

### 「低炭素・国際展開に対応する水環境管理戦略:(2)水環境インフラ国際展開の方策、(3)地球温暖化と水環境問題を総合評価する手法の研究」

地球温暖化は水環境管理に多様かつ多大な影響を及ぼすとともに、水環境管理側にも地球温暖化防止への対策が求められている。近年、低炭素社会・人口減少に対応したわが国の都市インフラの創生方策が問われているとともに、アジア・アフリカの経済成長・都市化に対するわが国の環境貢献も期待されている。このような多様な課題を同時に考慮し、総合化しなければ、新しい時代における高度な水環境管理は不可能である。環境工学委員会は、水環境や都市環境衛生に関連する多様な研究者の集団である。その知を結集して、個別の独創的・先駆的な低炭素環境保全技術を開発するとともに、その成果を地球温暖化・人口減少社会または国際展開に対応する水環境管理の在り方という観点から総合化し、新しい総合技術戦略を検討している。

今回は重点課題に対する第2回ワークショップとして、水環境分野における国際展開・国際競争についての現状、地球温暖化や水環境問題を総合的に評価する研究について情報を交流するとともに、今後の研究展開を討論するために企画したものである。ご関心のある方は是非ご出席ください。

●主催 土木学会（担当 環境工学委員会）

●日時 平成24年8月22日（水）14:30～17:15

●場所 山形大学農学部3号館301教室

●定員 40名（先着順）

●参加料 無料

●プログラム

14:30～14:40 委員長挨拶（東北大学大学院工学研究科 教授 大村達夫）

14:40～15:05 中国における水環境の現状を踏まえた分散型排水処理技術の課題と提言  
（独立行政法人国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター 室長 徐開欽）

15:05～15:30 タイ王国・コンケン市の下水特性評価およびアジアの農産物加工工程廃水処理  
（長岡科学技術大学環境・建設系 教授 山口隆司）

15:30～15:55 膜メタン発酵システムのパームオイルミル廃水（POME）への適用  
（株式会社クボタ 水・環境総合研究所 小松敏宏）

16:05～16:30 インドネシアの熱帯泥炭地における有機炭素流出量の原単位の把握に関する研究  
（山口大学工学部 准教授 山本浩一）

16:30～16:55 地球温暖化にともなう水系感染症のリスク評価

(山形大学農学部 准教授 渡部徹)

16:55～17:15 総括討論 重点研究幹事 (東北大学大学院環境科学研究科 准教授 李玉友)

●申込方法

土木学会ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) より専用フォームにてお申込下さい。申込みが完了すると確認メールが届きます。そのメールが参加券になりますので、印刷して当日ご持参下さい。

●申込締切 平成24年8月20日(月)

定員に達した場合には受付を終了致しますのでご了解ください。

●問い合わせ

ワークショップの内容に関して

土木学会環境工学委員会 当ワークショップ担当

国立保健医療科学院生活環境研究部 小坂浩司 (kosaka@niph.go.jp) 宛

参加申込に関して

土木学会研究事業課 (行事担当: 佐藤)

TEL 03-3355-3559/FAX 03-5379-2769

住 所 〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 (外濠公園内)

●CPD: このワークショップは建設系CPD協議会の認定プログラムです。

山形大学農学部 アクセス案内

- JR 利用: 東京駅から上越新幹線にて新潟へ。羽越本線に乗り換えて鶴岡駅まで。所要時間おおよそ4時間半。鶴岡駅より山形大学農学部まで徒歩10分。
- 飛行機利用: 羽田空港より庄内空港へ。1日4便。所要時間1時間。庄内空港よりリムジンバスにてバス停「エスモール」まで所要時間30分。「エスモール」より山形大学農学部まで徒歩5分。

地図 (詳しくは、<http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/access.html>)

